

# 水仙たちに負けず一花咲かせたい

教育・福祉研究所長  
(元栗ヶ沢中学校教頭)

ささきはつたろう  
佐々木 初太郎

ごぶさたしております。水仙ロードの水仙たちは、今年も美しい花びらを道行く人々にほこらしげに見せているだろうか。栗中での四年間本当にお世話になりました。

この季節になると目に浮かぶ小金原の美しい草花のたたずまい。とりわけ、そこに暮らす皆さんの人情と共にひときわ目立って浮かぶのが、あの水仙たち。今年こそはまだ咲いているうちに訪れて一目会いたい。それは、恋人に再会する思もちであるからおもしろい。栗中での四年間、ソフトテニス部の子らと真っ黒になって遊び、駅伝部等々の追っかけに心おどらす日々。夢を見たように思う。

栗中をさって幸谷小での最終章を意気こんでいた矢先、突然妻に先立たれた。

心の痛みから日々悪戦苦闘した末、大学の編入試験を受けて福祉心理学の道へとかじを切った。教育と福祉のコラボレーションによって、日本の社会を見つめ直し、未来へとつき進むことに残りの人生をささげたい。

命さえも守れない今日の状況は、もはやすておけない危機的状況である。

小金原おやじの会の誕生から三年。すそのを広げつつある会の活動は、今日の状況に対する草の根からの改革の動きとして世の期待を集めることとなると確信している。

三月、晴れて千葉県民となり九十九里沿岸一宮海岸に居をおく事を選択。早く一人暮らしになれて、水仙たちに負けじ劣らず、私もまた”一花咲かせねば”と願っている。

長生郡一宮町にて